

しおがま“何でも”体感団 特別編

「浦戸防災ワークショップ～津波が来る！そのときどうする？」

- 日 時 平成 25 年 9 月 7 日（土） 9：00～15：00（小雨決行） ※予備日 9 月 8 日（日）
- 場 所 塩竈市浦戸諸島 桂島
- 目 的 東日本大震災から 2 年が経過して日常生活も落ち着きを取り戻しつつあるが、児童に改めて震災を振り返り、考えてもらうことで次代を担う世代に震災の記憶・教訓を伝える。
- 内 容 塩竈市浦戸諸島の桂島は、甚大な津波被害に遭いながらも犠牲者が出なかった島である。その背景には、島民が取った瞬時の判断と行動がある。津波被災地を見て、体験して、島民の話聞いて、自らの「気づき」と「学び」を深める体験を通して、主体性を育む。
- 参加者 市内小学校 4～6 年生児童 25 人とその保護者 ※保護者は任意参加
- 講 師 NPO 法人まなびのたねネットワーク
 *「NPO 法人まなびのたねネットワーク」とは？
 学校教育支援と社会教育支援を通して青少年育成と市民が育つ地域社会づくりに寄与することを目的にとして、様々な「まなびのたねまき」をしている人材育成 NPO です。桂島では、震災前から自然体験プログラムとして牡蠣や海苔の養殖体験を行っています。東日本大震災を教訓に、子ども達が自ら考え、判断し、主体的に行動できる力をつけるため、防災教育ワークショップを実施しています。

■活動内容

時 間	活動内容
9：30	塩竈発（市営汽船）
9：53	桂島到着
10：00～	オリエンテーション・島歩き 島のハイキングコースを歩きながら、津波被害を受けたエリアを確認する。
11：00～	防災教育ワークショップ① 海岸で遊んでいるときに、大地震が発生、大津波警報が出されたという想定で、自分が安全だと思うところまで逃げる。その後、実際に避難してみて何を感じ、何を学んだのか、自分の命を守るために大切なことは何かを話し合い、ふりかえりを行う。
12：00～	昼食
13：00～	防災教育ワークショップ② 津波が来る前に、島民の人たちがどのような行動を取ったのか話を聞く。
14：31	桂島発
14：54	塩竈着
15：00	解散

<昨年の様子>



自分の命を守るためには何が大切なのかをグループワークを通して話し合いました。